

尾張版



佐渡大野亀海岸
永井 猛
南風会所属

お姉さんらとXマス会



集まった親子とクリスマスソングを歌う一宮高校の生徒＝一宮市栄の尾張一宮駅前ビルで

子育て支援団体開催 母子と一宮高校生 交流

妊娠中や子育て中の 市栄の尾張一宮駅前ビルで、乳幼児と母親の市民団体「夢育ひろ」のためのクリスマス会を「ば」が二十四日、一宮開いた。

夢育ひろは昨年十月の立ち上げ以来、駅前ビル内の市民活動支援センターや市中

央図書館で毎月、親子の触れ合いを目的にしたイベントや絵本の読み聞かせをしている。

この日は若い世代にも出産や育児についても考えてもらおうと、保育士を目指している市内の一宮高校ファッション創造科「子どもの文化コース」の二年生十四人も呼んだ。

夢育ひろのメンバーがハンドベルの演奏や読み聞かせを披露。高校生も子どもたちと歌や踊りを楽しみ、水谷楓さん(も)は「言葉が分からない乳児でも、視覚や音のリズムで一緒に楽しめると実感した」。

夢育ひろは代表の愛知文教女子短大(稲沢市)准教授の真下あさみさん(五)は「いつか母親になる若い世代に、子どもだけではなく、育児をする母親を見てもらうことも大

切。今後も高校生と親子と触れ合う機会を増やしたい」と話した。(太田理英子)